

master ▾

...

amplify-figma-workshop / section07.md



yoshiokaCB first commit.



1 contributor

121 lines (68 sloc) | 4.32 KB

...

## 7. Github 連携でデプロイ

最後に Github と連携する設定を行い、リポジトリが更新されるタイミングでデプロイできるように設定をします。

### Cloud9 での作業

npm start を実行していない Cloud9 のターミナルで、これまでの修正をコミットして Github にプッシュします。

```
git add .  
git commit -m 'first deploy.'  
git push origin master
```

git push origin master で次のように認証を要求された場合はGitHubのユーザー名とGitHubのパーソナルアクセストークンを入力します。パーソナルアクセストークンが分からない場合、<https://docs.github.com/ja/authentication/keeping-your-account-and-data-secure/creating-a-personal-access-token> の手順を元にトークンを生成してください。

パーソナルアクセストークンを新たに作成する場合、以下の内いずれかを実行してください。

- Fine-grained tokensを作成する場合、Repository accessで「amplify-homes」を選択し、Repository permissionsで、「Contents」の「Read and write」を許可してください。
- Personal access tokens (classic) を作成する場合、Select scopesで「repo」の「Full control of private repositories」にチェックを入れてください。

Username for 'https://github.com/xxxxxxxx/amplify-homes.git': <ユーザー名>  
Password for 'https://xxxxxxxx@github.com/xxxxxxxx/amplify-homes.git': <パーソナルアクセストークン>

## AWS Amplify (マネージメントコンソール) での作業

AWS マネージメントコンソールの Amplify にアクセスし Github 連携の設定をします。



1. 作成したアプリケーションを選択します。
2. 「Hosting environments」のタブをクリックし、「Github」を選択し、「ブランチ接続」をクリックします。



AWS Amplify (ap-northeast-1) by **AWS Amplify Console** would like permission to:

 Verify your GitHub identity ( )

 Know which resources you can access

 Act on your behalf  
[? Learn more](#)

---

[Learn more about AWS Amplify \(ap-northeast-1\)](#)

Authorizing will redirect to  
<https://ap-northeast-1.console.aws.amazon.com>

---

 Not owned or operated by GitHub     Created 4 years ago     More than 1K GitHub users

1. 「Authrize AWS Amplify (xxx)」をクリックして AWS Amplify と Github を接続を許可します。

すべてのアプリ > amplifyhomes > ブランチを接続

ステップ1  
リポジトリブランチの追加

ステップ2  
ビルドの設定

ステップ3  
確認

## リポジトリブランチの追加

### GitHub

✔️ GitHub の認証が成功しました。

リポジトリサービスプロバイダー  
GitHub

最近更新されたリポジトリ  
yoshiokaCB/amplify-handson-sample

上記のドロップダウンにリポジトリが表示されない場合は、Amplify GitHub アプリにリポジトリへの許可があることを確認してください。リポジトリが表示されない場合は、コミットをプッシュし、更新ボタンをクリックします。

GitHub のアクセス許可を表示

ブランチ  
リポジトリからブランチを選択してください。  
master

monorepo を接続しますか? フォルダを選択してください。

キャンセル 次へ

1. リポジトリを選択してください（例：amplify-homes）
2. master ブランチを選択してください。
3. 次へをクリックします。

## リポジトリブランチの追加

### GitHub

✔️ GitHub の認証が成功しました。

リポジトリサービスプロバイダー  
GitHub

最近更新されたリポジトリ  
レポジトリの選択

上記のドロップダウンにリポジトリが表示されない場合は、Amplify GitHub アプリにリポジトリへの許可があることを確認してください。リポジトリが表示されない場合は、コミットをプッシュし、更新ボタンをクリックします。

GitHub のアクセス許可を表示

キャンセル 次へ

※ドロップダウンにリポジトリが表示されない場合は、「Github のアクセス許可を表示」をクリックします。



## Install AWS Amplify (ap-northeast-1)

Where do you want to install AWS Amplify (ap-northeast-1)?

 <b>junichi-ishikura</b>	Configure >
	>
	>
	>
	Configure >
	>
	>
	>

※自身の Github アカウントを選択して Amplify Github アプリをインストールします。

## ビルドの設定

## アプリケーションの構築とテストの設定

アプリケーションの名前  
amplifyhomes

自動検出されたフレームワーク

フロントエンドフレームワーク  
React  
バックエンドフレームワーク  
Amplify

このブランチで使用するバックエンド環境を選択

App name amplifyhomes (this app) Environment dev

 フルスタック CI/CD を使用すると、あらゆるコードコミットでフロントエンドおよびバックエンドの変更を自動的にデプロイできます

フルスタックの継続的デプロイ (CI/CD) を有効化

既存のサービスロールを選択するか、新しいロールを作成して、Amplify ホスティングがリソースにアクセスできるようにします。

既存のサービスロールを選択するか、新しいサービスロールを作成

① 新しいサービスロールを作成します。開いたウィンドウで、各画面で事前に選択されたデフォルト値をそのまま使用して、新しいサービスロールを作成します。

新しいロールを作成

## 構築とテストの設定

アプリのビルド設定が自動検出されました。ビルドコマンドおよび出力フォルダー (baseDirectory) が正しく検出されていることを確認してください。

```
1 version: 1
2 backend:
3   phases:
4     build:
5       commands:
6         - '# Execute Amplify CLI with the helper script'
7         - amplifyPush --simple
8 frontend:
9   phases:
10    preBuild:
11      commands:
12        - yarn install
13    build:
14      commands:
15        - yarn run build
16 artifacts:
17   baseDirectory: build
18   files:
19     - '**/*'
20 cache:
21   paths:
22     - node_modules/**/*
23
```

構築とテストの設定

Download

Edit

▶ 詳細設定

キャンセル

戻る

次へ

1. 「新しいロールを作成」をクリックし、デプロイに使用するロールを作成します。

# ロールの作成

## ロールの作成

1 2 3 4

### 信頼されたエンティティの種類を選択

**AWS サービス**  
EC2、Lambda、およびその他

**別の AWS アカウント**  
お客様またはサードパーティーに属しています

**ウェブ ID**  
Cognito または任意の OpenID プロバイダ

**SAML 2.0 フェデレーション**  
企業ディレクトリ

AWS のサービスによるアクションの代行を許可します。 [詳細はこちら](#)

### ユースケースの選択

#### 一般的なユースケース

##### EC2

Allows EC2 instances to call AWS services on your behalf.

##### Lambda

Allows Lambda functions to call AWS services on your behalf.

または、サービスを選択してユースケースを表示します

API Gateway	CloudWatch Events	EKS	IoT Things Graph	RDS
AWS Backup	CloudWatch Evidently	EMR	IoT TwinMaker	Redshift
AWS Chatbot	CloudWatch RUM	EMR Containers	KMS	Rekognition
AWS Marketplace	CodeBuild	ElastiCache	Kinesis	RoboMaker
AWS Support	CodeDeploy	Elastic Beanstalk	Lake Formation	Roles Anywhere
AWS Support App	CodeGuru	Elastic Container Registry	Lambda	S3
Amazon EMR Serverless	CodeStar Notifications	Elastic Container Service	Lex	SMS
Amazon OpenSearch Service	Comprehend	Elastic Transcoder	License Manager	SNS
<b>Amplify</b>	Config	ElasticLoadBalancing	MQ	SWF
AppStream 2.0	Connect	EventBridge	MSK Connect	SageMaker
AppSync	DMS	FIS	Machine Learning	Security Hub
Application Auto Scaling	DRS	Forecast	Macie	Service Catalog
Application Discovery Service	Data Lifecycle Manager	GameLift	Managed Blockchain	Step Functions
Application Migration Service	Data Pipeline	Global Accelerator	MediaConvert	Storage Gateway
Batch	DataBrew	Glue	Migration Hub	Systems Manager
Braket	DataSync	Greengrass	Network Firewall	Textract
Budgets	DeepLens	GuardDuty	Nimble Studio	Timestream
Certificate Manager	Directory Service	Health Organizational View	OpsWorks	Transfer
Chime	DynamoDB	Honeycode	Panorama	Trusted Advisor
CloudFormation	EC2	IAM Access Analyzer	Personalize	VPC
CloudHSM	EC2 - Fleet	Incident Manager	Purchase Orders	WorkLink
CloudTrail	EC2 Auto Scaling	Inspector	QLDB	WorkMail
CloudWatch Alarms	EC2 CapacityReservation Fleet	IoT	RAM	WorkSpaces Web
CloudWatch Application Insights	EC2 Image Builder	IoT SiteWise		

### ユースケースの選択

#### Amplify - Backend Deployment

Allows Amplify Backend Deployment to access AWS resources on your behalf.

\* 必須

キャンセル

次のステップ: アクセス権限

1. AWS サービス、Amplify、Amplify - Backend Deployment が選択させていることを確認し、「次のステップ: アクセス権限」をクリックします。

※ アクセスした時点で選択された状態になっています。

## ロールの作成

1 2 3 4

### ▼ Attached アクセス権限ポリシー

選択済みのタイプのロールには以下のポリシーが必要です。

ポリシーのフィルタ	検索	1件の結果を表示中	
ポリシー名	次として使用	説明	
▶ AdministratorAccess-Amplify	Permissions policy (6)	Grants account administrative permissions wh...	

\* 必須

キャンセル

戻る

次のステップ: タグ

1. AdministratorAccess-Amplify が選択されていることを確認し、「次のステップ」をクリックします。 ※ アクセスした時点で選択された状態になっています。

## ロールの作成

1 2 3 4

### タグの追加 (オプション)

IAM タグは、ロール に追加できるキーと値のペアです。タグには、E メールアドレスなどのユーザー情報を含めるか、役職などの説明文とすることができます。タグを使用して、このロール のアクセスを整理、追跡、制御できます。 [詳細はこちら](#)

キー	値 (オプション)	削除
<input type="text" value="新しいキーを追加"/>	<input type="text"/>	

さらに 50 個のタグを追加できます。

キャンセル

戻る

次のステップ: 確認

1. 「次のステップ」をクリックします。

## 確認

以下に必要な情報を指定してこのロールを見直してから、作成してください。

ロール名\*

英数字と「+','=','\_」を使用します。最大 64 文字。

ロールの説明

最大 1000 文字。英数字と「+','=','\_」を使用します。

信頼されたエンティティ AWS のサービス: amplify.amazonaws.com

ポリシー  AdministratorAccess-Amplify [🔗](#)

アクセス権限の境界 アクセス権限の境界が設定されていません

追加されたタグはありません。

\* 必須

[キャンセル](#)

[戻る](#)

[ロールの作成](#)

1. ロール名が入力されていることを確認し、「**ロールの作成**」をクリックします。

## ビルドの設定

## アプリケーションの構築とテストの設定

アプリケーションの名前  
amplifyhomes

自動検出されたフレームワーク

フロントエンドフレームワーク  
React  
バックエンドフレームワーク  
Amplify

このブランチで使用するバックエンド環境を選択

App name: amplifyhomes (this app) Environment: dev

 フルスタック CI/CD を使用すると、あらゆるコードコミットでフロントエンドおよびバックエンドの変更を継続的にデプロイできます

フルスタックの継続的デプロイ (CI/CD) を有効化

既存のサービスロールを選択するか、新しいロールを作成して、Amplify ホスティングがリソースにアクセスできるようにします。

既存のサービスロールを選択するか、新しいサービスロールを作成

① 新しいサービスロールを作成します。開いたウィンドウで、各画面で事前に選択されたデフォルト値をそのまま使用して、新しいサービスロールを作成します。

新しいロールを作成

## 構築とテストの設定

アプリのビルド設定が自動検出されました。ビルドコマンドおよび出力フォルダー (baseDirectory) が正しく検出されていることを確認してください。

```
1 version: 1
2 backend:
3   phases:
4     build:
5       commands:
6         - '# Execute Amplify CLI with the helper script'
7         - amplifyPush --simple
8 frontend:
9   phases:
10    preBuild:
11      commands:
12        - yarn install
13    build:
14      commands:
15        - yarn run build
16 artifacts:
17   baseDirectory: build
18   files:
19     - '**/*'
20 cache:
21   paths:
22     - node_modules/**/*
23
```

構築とテストの設定

Download

Edit

▶ 詳細設定

キャンセル

戻る

次へ

1. app name は xxx(this app) になっていること、Environment が dev になっていることを確認し、先ほど作成したロールを選択し、「次へ」をクリックします。

すべてのアプリ > amplifyhomes > ブランチを接続

ステップ1  
リポジトリブランチの追加

ステップ2  
ビルドの設定

ステップ3  
**確認**

## 確認

### リポジトリの詳細

リポジトリサービス GitHub	ブランチ環境 dev
リポジトリ yoshiokaCB/amplify-handson-sample	アプリケーションルート
ブランチ master	

### アプリの設定 編集

アプリケーションの名前	フレームワーク React - Amplify
構築イメージ デフォルトイメージの使用	ビルドの設定 自動検出設定が使用されます
環境変数 USER_BRANCH: dev	

キャンセル 戻る 保存してデプロイ

1. 「保存してデプロイ」をクリックします。

すべてのアプリ > amplifyhomes

## amplifyhomes

AWS Amplify コンソールは、AWS マネジメントコンソール内のフルスタックアプリの管理センターです。継続的デプロイとホスティングを設置し、Amplify Studio でフルスタックアプリを作成し、フルスタック環境を管理します。

Hosting environments | Backend environments

このタブには、接続されているすべてのブランチが一覧表示されます。構築の詳細を表示するには、ブランチを選択します。

ブランチを接続

### master

次を使用した継続的なデプロイの設定: dev backend (編集)



<https://master...amplifyapp.com>

プロビジョン → 構築 → デプロイ

前回のデプロイ 2022/11/17 14:59:52	最終コミット これは自動生成されたメッセージです   Auto-build   GitHub - master	プレビュー 無効
--------------------------------	--	-------------

1. デプロイが開始されます。
2. デプロイ完了後、発行された URL にアクセスするとアプリケーションの確認ができます。

-> 8. extra

-> トップへ戻る